



【 学校の役割と使命・役割分担 】

○ 昨年度の2月4日の入学説明会で話をしたことを掲載します。改めてお伝えしたいこと、お願いしたいことです。



私は、小学校の役割は二つあると思っています。一つ目は、「学力を付ける」ことです。学力の中心は、「自分から学ぼうとする力」です。井波小学校では、学校生活の約8割を占める「授業」を核として、様々な教育活動を展開しています。そして、井波小学校の目指すところは、「主体性の向上」：自分から進んで何かに取り組む子供の育成」です。それが、「自分から学ぼうとする力」と一致していると思っています。

二つ目の役割は、「社会性を育む」ことです。学校は、「集団生活」「集団行動」をします。一人一人の子供には、学習を受ける権利や、気持ちよく生活する権利があります。その権利を奪う行為、例えば、友達の学習のじゃまをすることはもちろん、先生や仲間が話をしているときに、無駄話をするだけでも、仲間にとって大変な迷惑です。自分勝手な行動はしないという社会のルールを守るよう指導しています。

この「学力・学ぼうとする力を付ける」「社会性を育む」。この二つが、小学校の役割であり、また使命であることを、どうぞご理解ください。

そして、田中市長さんは、教育について、常にこう言われています。「子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く。」・・・つまり、学校と家庭の役割分担です。

学校では、授業を核としたいろいろな教育活動を通して、学力を付け、社会性を育みます。それが、田中市長さんの言われる「学校で鍛える」ということだと思っています。

一方、「家庭で育てる」とは、どういうことでしょうか。・・・その一つは、自分のことは自分ですという基本的な生活習慣を身に付けることだと、私は思っています。そこで、私は、保護者の皆様には、4月までに可能な限り、挨拶、着替え、歯磨き、自分が使った物の後片付けなど、少しでも基本的な生活習慣が身に付くよう、ご尽力していただくことをお願いしたいと思えます。

学校では「学力・学ぼうとする力を付ける」「社会性を育む」、家庭では「基本的な生活習慣を付ける」・・・それぞれ役割分担をし、互いに補いながら、田中市長さんの言われる「子供は家庭で育て、学校で鍛える」ということが実現できることを強く願っています。

私は、このすばらしい井波小学校の子供たち、真摯で熱意ある教職員、学校にご理解・ご協力のある保護者の方は、南砺市の小学校の中で一番だと思っています。(後略)

○ 令和4年度も1か月半が過ぎました。今後の子供の育ちを高めるために、学校運営方針の一つである「学校・家庭・地域が連携」を実現する学校を創りたいと、改めて思っています。ご理解、ご支援、ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。